

図書館だより

2010
№162

- 湘南大庭市民図書館開館10周年記念企画 P1
- 2009年 秋の読書週間 P2~3
- 郷土の文化人 その9 富岡畦草 P4

10th Anniversary 湘南大庭市民図書館開館10周年記念企画

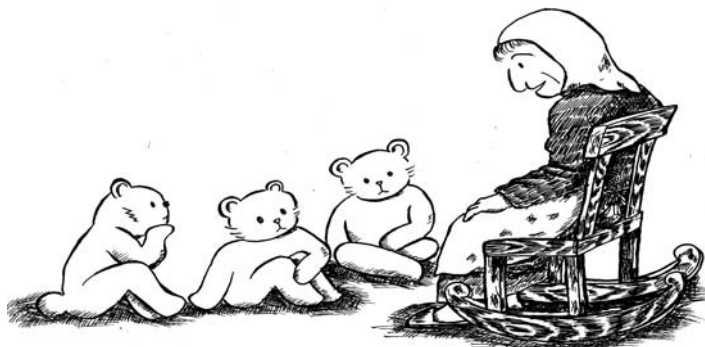
2010土曜スペシャル



ふじさわ

土曜の午後を図書館で すごしてみませんか!

湘南大庭市民図書館では2009年4月29日より開館10周年を記念してさまざまな企画を行ってきました。2010年1月から3月にも楽しい企画を行います。どうぞご参加ください。



東京子ども図書館「おばあさんのいす」

2月13日(土) 午後2時~午後3時
湘南大庭市民図書館第一会議室
昔話・素話を楽しみましょう!
子どもからおとなまで!



湘南大庭寄席

1月16日(土)
午後3時~午後4時15分
湘南大庭市民図書館第一会議室
落語で! 笑いましょう!
どなたでも!



朗読をあなたに

3月13日(土)
午後2時~午後3時30分
湘南大庭市民図書館第一会議室
静かな午後! 朗読を楽しみましょう!
おとな向け企画ですが、どなたでも!

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>
(携帯電話版) <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/i/>

- 【市民図書館】 総合市民図書館 (Tel.43-1111) 南市民図書館 (Tel.27-1044) 辻堂市民図書館 (Tel.35-0028)
湘南大庭市民図書館 (Tel.86-1666)
- 【市民図書室】 長後 (Tel.43-7655) 明治 (Tel.35-7095) 辻堂 (Tel.35-7076) 村岡 (Tel.28-6939)
片瀬 (Tel.28-6935) 遠藤 (Tel.88-6235) 六会 (Tel.83-4686) 善行 (Tel.83-4687)
藤沢 (Tel.28-6895) 鵜沼 (Tel.35-7096) 御所見 (Tel.48-4675)

総合市民図書館

◆講座「はじめての伊勢物語」

全3回（10月23日・30日・11月6日）

講師：増淵勝一氏（古典研究誌「並木の里」主宰）

昨年好評の古典文学講座は、今回も満員御礼でした。参加者のみなさんもうなずいたり、笑ったりしながらの楽しい講義で、「ぜひ、来年も古典文学講座を開催してください」との声が多数寄せられました。



◆第2回 図書館まつり開催！（11月15日）

古本市や模擬店、紙芝居と楽しさ満載の1日でした！



南市民図書館

◆こどもマンガ教室（11月1日・8日）

講師：大山哲也氏（漫画家）

先生からペンの使い方やスクリーントーンの貼り方を教わりながら、こどもたちがマンガを完成させました。作品は後日製本し、すてきな作品集に仕上がりました。



◆講演会「癒しの番組・ラジオ深夜便」（11月3日）

講師：水野節彦氏（アナウンサー）

会場にはNHKラジオ深夜便のファンも多く見られ、なごやかな雰囲気の講演会となりました。アナウンサーとしての経験や長くアンカーを勤められた番組での心に残るエピソードなどから「癒し」についてお話しいただきました。



◆マンドリンの調べと映画の集い（10月31日）

演奏：湘南マンドリン・ギターアンサンブル

マンドリンで奏でる「慕情」「ラーラのテーマ」などの名曲に耳を傾け全員で合唱しました。引続き映画「ドクトル・ジバゴ」を上映。

2009年秋の読書週間

◆読書週間こどものつどい（10月28日）

大型絵本やペープサート（紙人形劇）など、普段のおはなし会とは違ったプログラムで楽しめました。

◆鎌倉文学散歩（11月4日・5日）

講師：島津勝昭氏（文芸評論家）



学習会での講義ゆかりの地を訪れました。鎌倉の路地を歩いて、静かにいにしへの雰囲気に浸ることができました。講師の楽しい解説に充実した2日間をすごしました。

辻堂市民図書館

◆講演会「わが街 発展の歴史

—伸びゆく辻堂—（11月3日）

講師：山田榮氏

（辻堂地区自治会町内会長連絡協議会会長）

今回の講演は、辻堂の起源から、現在までの歴史を古写真など示しながら、辿るものでした。また、将来の辻堂地区も見据えた、たいへん聴きごたえのあるものでした。

会場は講師の「辻堂の歴史を伝えたい」という思いと、参加者の「地元について知りたい」という思いが一体となり、熱気にあふれたものになりました。

また、同時に会場に展示された戦前・戦中の辻堂地区の写真パネルも当時の情景や生活が偲ばれるもので、昔を懐かしむ声も多く寄せられ、大変好評でした。



「地名の由来は？駅の変遷は？」

「自分たちの街に対する素朴な疑問」

◆人形劇のつどい（11月14日）

参加団体：ピッコロ

プログラム：人形劇「じごくけんぶつ」他

◆図書館の朗読タイム（11月26日）

参加団体：渚の風・朗読8人会

プログラム：「1Q84」「告白」他

湘南大庭市民図書館

◆ふじさわの「むかし・むかし」

～縄文からのおくりもの～（11月21日）

生涯学習課の望月芳（かおる）氏を招いて、大庭・遠藤地区の縄文時代の地形、縄文人の生活、発掘された土器



などの話を聞きました。当時の竪穴式住居の実物大の見取り図や、出土された石器などを実際に見たり触れたりして、生活に密着した身近な土地のむかし・むかしの世界に、タイムスリップしたひとときでした。

◆あきのおはなし会（11月3日）

当日は小学生を中心に大勢の参加がえられました。素話・大型絵本・詩・紙芝居の他に、普段のおはなし会にはない「詩」を二編とりあげました。子どもたちは、おはなしの世界を十分に味わうことができました。

◆佐江衆一氏講演会（11月8日）



大庭館開館10周年記念講演会として藤沢市在住の作家、佐江衆一氏に「私の小説と藤沢と自作朗読」という題目でお話しいただきました。

前半は藤沢の遊行寺開祖の一遍上人を描いた『わが屍は野に捨てよ』についての話、後半は『江戸職人綺譚』の中から「一会の雪」の朗読という構成で、会場の参加者に大好評でした。

とみおか けいそう 富岡 畦草

プロフィール

1926年(大正14年)三重県生まれ。
1952年(昭和27年)から藤沢市民となる。
58年、定点観測という記録写真の方法と人間成長連日記録への着目と実践に対して日本写真協会新人賞受賞。日本写真協会・日本写真家協会・日本自然科学写真協会・日本写真芸術学会に所属。

定点撮影を続けて半世紀

富岡さんが写真を撮りたいと考えはじめた頃、カメラは簡単に手に入るものではありませんでした。生活を切りつめて購入したカメラは、当時の富岡さんの6ヵ月分の給料をはたいたそうです。使用するフィルムも一枚一枚が貴重です。その貴重なフィルムで富岡さんは町並みや人々の姿を撮ることで変わりゆく日本を切り取っていきました。その中で「写真は記録する最良の手段」と思うようになったといいます。

いろいろな角度から日本を撮るうちに「同じ場所を同じ考えで撮った写真を並べることで時代の移り変わりがわかるのではないか」と考えます。このように撮影する方法を富岡さんは「定点観測撮影法(定点撮影)」と名付けました。昭和20年代末に藤沢に住まわれてからは、市内の商店街や観光地、町工場や住宅地まであらゆる場所をカメラにおさめてこられました。またその写真にご自身の家族が加わったことで、より時の流れによる差が鮮明に写しだされるようになりました。富岡さんの写真集の中には懐かしい藤沢の風景が多数おさめられています。

50年以上も定点撮影を続けているのは、日本中で富岡さんただおひとりです。子どもの成長連日記録32年間は世界唯一だそうです。こうして、終わりのない定点撮影を続けていくには、強い熱意や好奇心、体力も必要でしょう。

富岡さんは日々「自分がやらなければ」という使命感をもって取り組んでいらっしゃいます。

現在も富岡さんは藤沢はもとより都内をはじめ様々な場所で定点撮影を続けています。また月刊「日本カメラ」に連載を持ち、藤沢市生涯学習写真講座や市内サークルで指導するなど活躍されています。3月下旬には村岡公民館で講演会も予定されています。

撮り直すことのできない時間を写真という形で積み重ねてきた富岡さんの記録は、時がたてばたつほど価値あるものとなるでしょう。ぜひ皆様も一度富岡さんの作品をごらんください。

(新年1月6日から11日まで鎌倉美術館で展示中)

〔著書〕

『湘南の散歩みち』山と溪谷社 1967年
『富岡畦草・記録の目シリーズI 東京 消えた街角』玄同社 1992年
『富岡畦草記録写真集 車が輝いていた時代』日本カメラ社 2003年
『岩波フォト絵本 東京は変わった 定点撮影50年』岩波書店 2004年 など多数。

藤沢市図書館では、富岡畦草氏の作品約80冊を4館で所蔵しています。

編集後記

- ◆ 新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。
- ◆ 今号では、昨年の秋に催された読書週間の行事を中心にご紹介しました。
- ◆ 2000年4月29日に開館した湘南大庭市民図書館が、もうすぐ満10歳を迎えます。新しいミレニアム(千年紀)に世の中が盛り上がった2000年1月、湘南大庭市民図書館では、開館に向けての準備が進められていました。本を仕分けして書棚に収めていった日々のことが懐かしく思い出されます。

発行 藤沢市総合市民図書館
藤沢市湘南台 7-18-2
TEL 0466-43-1111